

全国大学人権教育交流会

第51回 企画

《研究会のご案内》

テーマ

～どう考えどう取り組むか

『特別の教科 道徳』と人権教育（パートⅡ）～

本年より小学校において「特別の教科 道徳」が始まりました。来年度は、中学校において実施されます。

本会は昨年に引き続き、子どもの現実から学び、子どもの人権の実現をめざし、人権教育を基礎にする立場から、「特別の教科 道徳」をどう考え、どう取り組んでいくかを、学び合いたいと思います。

学期前の忙しい時期ではありますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

○開催日：2018年8月25日（土）13時～17時

（受付は12時30分～）

○場 所：大阪人権博物館（リバティおおさか）

大阪市浪速区浪速西3-6-36

Tel：06(6561)5891 FAX:06(6561)5995 <http://www.liberty.or.jp>

【報告】

報告1「中学校道徳教科書採択——より良い教科書を子どもたちの手に！」
相可 文代さん（「子どもたちに渡すな!あぶない教科書 大阪の会」）

報告2「人権教育からみる戦後教育と道徳の教科化について」
桂 正孝さん（大阪市立大学名誉教授）

報告3「人権教育の視点を取り入れた『道徳』科」
伊藤 悦子さん（京都教育大学教授）

【質疑応答と意見交流】

○当日、参加費として1,000円いただきます。（学生は無料）

○準備の都合上、参加予定の方はできればメールにてご連絡ください。当日参加もできます。

Mail アドレス g_jinken@yahoo.co.jp

報告者のプロフィール

相可 文代（おうか ふみよ）さん

1950年生まれ。大阪府元中学校教員。

社会科教員として、2001年以降、「新しい歴史教科書をつくる会」などが作成した歴史歪曲・愛国主義的な歴史・公民教科書の採択に反対してきた。

退職後は市民団体「子どもたちに渡すな!あぶない教科書 大阪の会」で教科書問題に取り組んでいる。

桂 正孝さん（かつら まさたか）さん

1937年生まれ。1967年大阪大学大学院博士課程単位修得退学。同大学医療技術短大部助教授を経て1979年大阪市立大学文学部助教授、1985年教授、2001年名誉教授、宝塚造形芸術大学教授歴任。1978年日教組全国教研人権教育分科会共同研究者（30年）、月刊『解放教育』（明治図書）編集長、兵庫県教委の人権教育・防災教育の委員、大阪市社会教育委員、箕面市人権協会会長、歴任。現在、日教組人権教育推進委員会委員、兵庫教育文化研究所常任所員。

著書（監修・共編著）、『2020年—情報社会と教育改革』（勁草書房2000年）、『子どもとつくるキャリア教育 学習プラン・実践集』（大阪府人権教育研究協議会、2009年）、「子どもの貧困と学力問題」（部落解放・人権研究所研究報告書No.14、2009年）、「道徳教育論争—特設「道徳」教育を中心に—」（『教育と文化』59号、アドバンテージサーバー、2010年）、「いま、『教育改革』をめぐる相克を読む—人権・同和教育の視座から—」（大阪市立大学共生社会研究会『共生社会研究』No.8、2013年）、「人権教育の実践的視座とすじ道—人権としての『居場所』と『物語』づくりを—」（『いんふおめ—しょん 子どもの人権連』No.151、2016年）

伊藤 悦子さん（いとう えつこ）さん

1995年より京都教育大学教員。教育学・教育社会学・人権教育。

著書に『被差別部落の大学卒業者の進路と結婚』（京都部落問題研究資料センター 2008年）、『部落史研究からの発信 第2巻近代編』（解放出版社 2009年）など、主にマイノリティの教育保障について歴史的・実践的に研究。昨年度は、「人権教育の継承と『子どもの貧困』—小・中学校教員調査を通じて」（『京都教育大学紀要』131号）、相澤伸幸・神代健彦編『道徳教育のキソ・キホン 道徳科の授業を始める人へ』（ナカニシヤ出版）に人権教育の立場から執筆。



全国大学人権教育交流会の会員を募集しています。ご希望の方は

g_jinken@yahoo.co.jp までご連絡ください。

詳細は全国大学人権教育交流会のホームページをご覧ください。

<http://zdaigaku.iinkenvoikukorvukai.web.fc2.com/>